

2026.2.15 『通信制高校・サポート校合同相談会』における講演の報告



『通信制高校・サポート校合同相談会』が開催されました

学びリンクが、2月15日(日)、福岡ファッションビル 8F(福岡県福岡市)にて、「通信制高校・サポート校合同相談会」を開催しました。



フロア内は講演会場と、学校に個別で話を聞くことができる個別相談会場、カウンセリング等の相談コーナーなどに分かれていました。

講演会場では、「中等部・フリースクール」「通

信制高校・サポート校のしくみ」「留学」「不登校支援」「気持ちの整理」をテーマにした講演が行われました。「中等部」に関する講演では、学びリンク編集長の小林建太が、フリースクールのしくみや特色について解説。講演の最後には、各中等部によるスピーチも行われました。「通信制高校・サポート校のしくみ講演」では、学びリンク代表の山口教雄が通信制高校の卒業条件や通い方、学費などを解説。「全日制高校とどう違うの?」「高卒資格を取る条件は?」「サポート校って何?」といった疑問に答える講演となっていました。後半には通信制高校に通っている・卒業した生徒たちの体験談を聴く会を実施。高校の選び方や学校生活、進路についてなどを等身大の言葉で語ってくれました。講演の中で不登校生支援の会「ぼちぼちの会」会長、元福岡市立能古中学校校長の木村素也さんが「不登校の子どもたちの高校選び」についてお話をしました。不登校にまつわる社会の変化から、不登校生の学校選びまで、広くご解説いただきました。



今回の講演の参加者は、保護者や当事者の生徒さんも多く、約40名ほどで、会場もいっぱいでした。講演内容を、メモに取るなど皆さん熱心に聞いておられました。

「不登校生は通信制高校をなぜ選ぶのか」という問いかけに具体的に話をされていたことが印象的でした。不登校生支援の会「ぼち

ぼちの会」会長の木村素也先生(元福岡市立能古中学校校長)による教育相談では、相談の親子の皆さんが熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

会場の各学校の個別相談ブースにも多くの保護者や高校生、中学生が訪れ、実際の先生方からお話を聞いていました。

その他、大学進学や海外留学の相談コーナーに加えて、中等部・フリースクール、不登校教育、親の会、スクールソーシャルワーカー、メンタルカウンセリング各コーナーが開設され、多くの方がご相談に訪れていました。



■不登校・教育相談コーナー 10:30～15:30

木村素也さん（ぼちぼちの会会長、元福岡市立能古中学校校長）が教育相談を担当します。

■不登校支援者による進路を考える講演「不登校の子どもたちの高校選び」 13:00～

講演者：不登校生支援の会「ぼちぼちの会」会長、元福岡市立能古中学校校長 木村素也さん

2014年3月に福岡市立能古中学校校長を退任。現在、「ぼちぼちの会」会長として各保護者の会と連携しながら不登校生の支援に関わっている木村素也さんによる講演です。

2014年、『不登校支援の輪をつなげよう ～『不登校生の保護者会』を通して学んだこと～』（学びリンク）を上梓。不登校の子どもたちの高校選びについてお話いただきます。

<https://www.stepup-school.net/news/detail/4467>